

【別海】根室管内随一のアサリ漁場、野付湾。天然の漁場のほか、人工の干潟があり、漁師の妻も引退した「元漁師」たちの働く場となっている。さながら「アサリ島」。干潟の「漁」に同行した。

(本庄彩芳)

### 管内随一の好漁場・野付湾

人工干潟は「造成区」と呼ばれ、湾内に計7カ所、合わせて24・5畝。国や道町の補助事業として1986年に着工。昨年末までにすべての造成区を整備した。総事業費は20億7500万円。

干潟での作業は、アサリを掘って出荷する「掘業」と、漁場から漁場へ移し替える「移植」の二つ。3日、午前7時半。尾岱沼漁港に色とりどりのかっぱを着た人たちが集まってきた。元漁師たちと野付漁協の女性部員、男女半々の約60人。この日は移植を行う。「キラク造成区」で掘ったアサリを「第2工区」にまく。野付漁協によると、潮流などの関係で、第2工区は生育が良いという。

日々の作業内容は市況を見て決める。アサリが安値の時は無理に出荷せず、移植して生育を促すというわけだ。

小さな漁船で約20分ほどで、広さ2畝のキラク造成区に到着。ひざをつき、「コマザライ」という、熊手を立派にしたような道具で土を掘る。アサリを見つけたら、素早くかごに入れていく。

「ボツボツ穴が開いてるところあるでしょ。その

# アサリ漁 主役は母さん

## 「男たち、手伝ってけれ」

### 干潟で手掘り、運搬も



早朝から野付湾内で行われるアサリの移植作業。素早く手つきで、かごの中に入れていく

ほどで引つ張り、舟に向か(75)は「ギャル」たちは量が多い時は「男たち、若いから力あって、たいたい手伝ってけれ!」と大きな声で響き、慌てて男性陣が駆けつける。伊藤昇さん



アサリをぎゅっしり積んだりヤカンを引っ張る女性たち

が7千円。村山さんは「4月から7月までの」1シーズンで10万円くらいになるよ。伊藤さんも「年金以外の収入は助かる」と話す。1時間ほどで移植する員を採り終え、小舟で15分移動して第2工区へ。10分ほどで巻き、この日の仕事は終了。今季は7月15日まで。アサリは夏に産卵期を迎え、「漁」は初夏までと秋の年2回。9月に再開し、11月初めごろまでの次のシーズンに入る。

野付漁協によると、道内のスーパーや本州方面で販売されている。昨年度、造成区では81ト、31082万円を水揚げ。天然漁場(125ト、5413万円)とともに、管内随一のアサリ産地として、造成区は重要な役割を担っている。

### 根室「希望の家」が新事業

### 高齢者と共同作業へ

参加者募集

【根室】3月に新施設が完成した在老の障害者を支援する社会福祉法人「希望の家」が、高齢者と障害者が共同で作業を行う「ふれあい事業」を始め。高齢者と障害者が交流する「共生型施設」としては市内で唯一の施設で、参加する高齢者を募集している。



通所する障害者が包装容器の作製作業を行う希望の家

ふれあい事業は、障害者が取り組む手芸品作りに対して、高齢者が技術や経験を生かしてアドバイスする共同作業事業と、互いのサークル活動を発表する報告会や高齢者の孤独感解消を目的に食事会を開く交流促進事業の二つを計画。介護予防事業を兼ねるため、対象は介護保険を利用していない65歳以上の高齢者。ただ、介護保険を利用していても介助を必要としない高齢者に関しては、参加が可能な。希望の家は、高齢者理解を深めることがで

【希望の家】3月に新施設が完成した在老の障害者を支援する社会福祉法人「希望の家」が、高齢者と障害者が共同で作業を行う「ふれあい事業」を始め。高齢者と障害者が交流する「共生型施設」としては市内で唯一の施設で、参加する高齢者を募集している。

FMはな 87.0MHz

FMはな 76.3MHz

### 市場情報

Table with market information including various commodity prices and exchange rates.

Table with market information including various commodity prices and exchange rates.

Table with market information including various commodity prices and exchange rates.

6日に市総合文化会館で行う。推薦は市商工観光課商工労政担当